

原料費調整制度に基づく平成29年4月検針分のガス料金について

平成29年2月24日
岡山ガス株式会社

岡山ガス株式会社は、原料費調整制度に基づき、平成29年4月検針分の単位料金を平成29年3月検針分に比べ1m³につき2.15円(税込)上方に調整させていただきます。

今回の調整は、平成28年11月～平成29年1月の平均原料価格が前期(平成28年10月～12月)の平均原料価格を上回ったことによるものです。

これにより、1か月に22m³のガスをお使いになる標準家庭で、平成29年3月検針分に比べ、ガス料金が47円(税込)の値上がりとなります。

平成29年4月検針分に適用する単位料金につきましては、当社の本社および営業所等の店頭での掲示や、検針時にお客さまにお届けいたしております「ガスご使用量のお知らせ(検針票)」等で、あらかじめお知らせいたします。

平成29年4月検針分のガス料金

◆一般ガス供給約款料金表

(税込)

料金表	1か月のご使用量	基本料金 (1か月あたり)	単位料金 (1m ³ あたり)		
			平成29年 3月検針分(a)	平成29年 4月検針分(b)	差額 (b)-(a)
料金表A	0m ³ から 10m ³ まで	910.44円	232.21円	234.36円	2.15円
料金表B	10m ³ をこえ 25m ³ まで	1,329.48円	190.31円	192.46円	2.15円
料金表C	25m ³ をこえ 100m ³ まで	1,610.28円	179.07円	181.22円	2.15円
料金表D	100m ³ をこえる場合	2,927.88円	165.90円	168.05円	2.15円

※各月のご使用量に応じて、A・B・C・Dの各料金表が自動的に適用されます。

◆標準家庭における影響

(税込)

1か月のご使用量	平成29年 3月適用料金(a)	平成29年 4月適用料金(b)	増減額 (b)-(a)	増減率
22m ³	5,516円/月	5,563円/月	47円/月	0.85%

※標準家庭1か月のご使用量22m³は過去5年間(平成23年～27年)のご家庭1件あたり平均使用量です。

原料価格の変動

◆平均原料価格

	基準平均原料価格 (平成25年1月～3月)	平成29年3月検針分 (平成28年10月～12月)	平成29年4月検針分 (平成28年11月～平成29年1月)
LNG平均輸入価格 (貿易統計値)	77,800円/トン	40,560円/トン	42,650円/トン
LPG平均輸入価格 (貿易統計値)	89,730円/トン	42,010円/トン	47,510円/トン
平均原料価格	79,220円/トン	40,910円/トン	43,290円/トン

※平均原料価格 = LNG平均輸入価格×0.9235 + LPG平均輸入価格×0.0822 (10円未満四捨五入)

◆原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned} \text{原料価格変動額} &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \\ &= 43,290\text{円/トン} - 79,220\text{円/トン} \\ &\Rightarrow \text{▲}35,900\text{円/トン} \quad (\text{100円未満切り捨て}) \end{aligned}$$

◆単位料金調整額の算定

$$\begin{aligned} \text{単位料金調整額} &= 0.083\text{円/m}^3 \times \text{原料価格変動額} / 100\text{円} \times (1 + \text{消費税率}) \\ &= 0.083\text{円/m}^3 \times \text{▲}35,900\text{円} / 100\text{円} \times 1.08 \\ &\Rightarrow \text{▲}32.19\text{円/m}^3 \quad (\text{小数点第3位切り上げ}) \end{aligned}$$

(税込)

	平成29年 3月検針分(a)	平成29年 4月検針分(b)	差額 (b)-(a)
単位料金調整額	▲34.34円/m ³	▲32.19円/m ³	2.15円/m ³

【参考】

原料費調整制度の概要

- 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月単位料金を調整する制度です。
- 基準平均原料価格(79,220円/トン)と平均原料価格(5～3か月前のLNG、LPGの輸入価格により算出)との差額に基づいて調整額を算出し、単位料金を調整いたします。
- 原料価格の変動については、LNG、LPGともに貿易統計実績によります。
- 原料価格の変動を料金に適切に反映させるため、平成29年4月より「単位料金の調整」における「平均原料価格」の上限に関する規定は、削除します。